



野網義一 議員

平成23年白鳥雇用促進住宅廃止!? 町営住宅化で入居者の不安なくせ

価格や耐震性など慎重に検討

雇用促進住宅とは

雇用保険の保険料で整備され、1961年から運営開始。政府の住宅政策五ヵ年計画にも位置づけられ公的住宅政策の柱となってきた。全国に14万戸35万人入居。1990年代に行政改革で廃止の方向が打ち出され、昨年12月の閣議決定で計画を10年前倒して2011年には784ヶ所、約6万7500戸を廃止決定。

白鳥雇用促進住宅

昭和47年4月1日運用開始。2棟80戸（間取り2K）RC五階建。
延床面積 3035㎡
敷地面積 3769㎡
現在53世帯110人が入居。

白鳥雇用促進住宅が平成23年度までに廃止されることになり、町営住宅として存続か、民間への払い下げか、立ち退き後解体して処分などがせまられている。経済的な問題等なかなか移転が困難な住民が多く全国で大問題になっている。町は平成6年度の町営住宅マスタープランにより空き家政策を実施。現在は管理戸数151戸のうち入居は140戸。昨年6月に申し込んだ人が未だに入居できない（待機者11人）。白鳥雇用促進を町営住宅にして計画を見直

す考えがあるか。その中でも入居者の意向や相談に応じられたい。

町長

機構側から建物の譲渡を受けるのか受けないのか判断が緊急に迫られている。価格や耐震性の問題等考慮し対応したい。110名近い人が池田町民として住んでおられ、簡単に機構がそうされるから出て行って下さいといえない。入居者の意向を聞いて対応したい。



白鳥雇用促進住宅はどうか？



ずっと故障中の大津谷気象観測装置

9月2日から3日にかけての豪雨は平成14年7月を上回る災害をもたらした。ところが大津谷に設置された気象観測装置は平成18年9月15日以来故障したまま。ゲリラ豪雨と言われるように局地的に集中して雨が降る傾



土砂で埋めつくされた大津谷

大津谷・役場の 気象観測装置の改善を 災害関連で対応します

向がある。早急に復旧されたい。
また、池田町役場の屋上に設置された気象観測装置も故障しがちで温度が高く出ることが多い。適正配置を望む。

町長

雨量や風・気温等基本的なものだけでも災害関連で整備したい。合わせて役場の気象観測装置も修理します。